

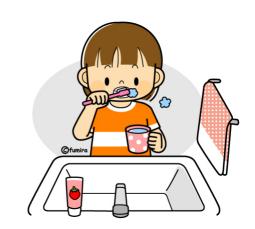
## はは歯クラブだより



NO.181 長崎市鳴見台小学校 学校歯科医 行成 哲弘

こんにちは! **ゆきなり小児・塩正成**です。 11月13、14日に秋の歯科健診を実施しました。 13日は1・2・5年生をありがとう歯科医院の 池ノ谷先生、14日は3・4・6年生を私たちが 担当しました。

お口の中の状況は両極端です。歯垢もなく歯ぐき も引き締まったお子さんも多く見受けられました が、何時歯をみがいたかわからないような歯肉炎



のお子さんも多々見受けられました。歯みがきの習慣がついているお子さんは少しの汚れでも気持ち悪く感じ、すぐに歯みがきをしようとします。歯みがきの習慣がついていないお子さんは、どんなに汚れていようが何とも思いません。汚れ(歯垢)が付いたままでは歯ぐきも腫れてきてちょっとした刺激(歯みがき)で出血します。血が出るからしっかりと歯みがきをしないとなり、ますます歯ぐきが腫れてきます。そうなると歯周病(歯槽膿漏)の予備軍、歯肉炎となります。お子さんの健診結果を見てください、歯肉炎に印が付いていませんか。

鳴見台小学校が開校以来、歯科校医をしています。当初よりお昼のブラッシングの時間を設けていただいています。コロナの影響で中止された時期もありますが現在は実施されています。しっかり丁寧にみがきましょう。

マスク生活の影響により口呼吸が多くなっています。歯ぐきも腫れやすくなりますし、歯並びにも影響が出てきます。以前ご紹介しましたあいうべ体操も続けましょう。



インフルエンザ、コロナウイルス感染症に負けない歯と口の健康づくりのためにも、歯みがきは大事です。

詳しくは、ホームページをご覧下さい。 「ゆきなり歯科」で検索すると簡単です。

〈日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘〉